



Title	宗教集団における虐待の構造 : 特定教団を事例に
Author(s)	櫻井, 義秀; Sakurai, Yoshihide
Description	日本宗教学会、東北大学、2006年9月16-18日
Issue Date	2006
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/17103
Type	conference presentation
File Information	shukyo.pdf



宗教集団における虐待の構造 - 特定集団を事例に

北海道大学 櫻井義秀

2006 日本宗教学会 東北大学

セクシャル・ハラスメントと社会集団

- 主要判例雑誌(判例時報、判例タイムズ、労働判例)にこれまで掲載されたセクシャル・ハラスメントは89件 市川,2004
- 学校関係が全体の26%、大学分が19%
大学の閉鎖的な教育・研究環境に原因
- 人格面における教化や感化を施す社会制度 :心理療法やカウンセリング、及び宗教
- 宗教団体わずか2例、問題が表面化しにくい

発表の構成

- 1 カルト問題と性的虐待
- 1)原理的考察と事例研究
- 2)カルト問題とバウンダリー(境界)侵犯
- 2 事例の考察
- 1)聖神中央教会の事件
- 2)教説の分析 - 神とサタンの戦い
- 3)宗教的言説の影響力 - 児童虐待横浜裁判
- 3 宗教集団と階層性・生活文化

聖神中央教会の事件

- 1986年から京都市内の自宅で開拓伝道
- 1987年に宗教法人「聖神中央教会」
- 2000年に「聖神世界宣教会総会」
- 12都道府県に22教会、牧師57人、公称1300人の信者(サンデー毎日、05/04/24)
- 2005年4月6日、本名金保(パウロ永田)主管牧師、61、レイプ容疑で逮捕
- 2006年2月21日、京都地裁、懲役20年、金は控訴せず、3月8日に刑が確定

教説の分析 1

- 2001年8月15日から17日、第三回『学生会セミナー「悪魔論」と題する講義
- 1) 人間の墮落と救済
- 2) 神とサタンの戦い
- 3) 人間の生存目的・社会の存在目的
- 4) 他宗教・他宗派批判

サタン・原罪・裁き・摂理

人間:神 聖霊/サタン 悪霊

教説の分析 2

- 教職者セミナー (20003,6,23) 実施
- 1) 一人が半年で一人を伝道すれば、教会は2倍になる。
- 2) 真理を悟り、聖霊の恵みを受けたものは伝道せざるをえない。
- 3) 結婚は必要悪。

宗教的言説の語り方、語られる状況

- 第一に、金保の説教そのものにマインド・コントロール的要素を見いだすのは難しい
- 第二に、教職者含めて信者の教義的理解のレベルは高いとは言えない
- 第三に、パウロ永田の神格化(サタンと切り結ぶ主管牧師)があるのは事実として、そこから少女の性的虐待にストレートにつながるとは考えられない

児童虐待横浜裁判

- 2005年11月1日、横浜地方裁判所、250万円の損害賠償請求 小学校4年次児童
- ゲーム 牧師の殴打 夜驚症、睡眠障害、適応障害(精神科医の診断)
- 牧師は「俺はパウロ永田のコピーだ」「パウロ永田は神の代理者だ」 悪魔払い
- 原告:北九州 宝塚 横浜
- 被告:生育環境、21歳で回心

聖神中央教会の社会的基盤

- 信者の社会層から福音主義受容の基盤
離婚、生活苦、病气「心臓病、アトピーが祈ることで解決されました」「脳障害による半身麻痺を克服して」
- 聖神中央教会が強調した善悪二元論の世界観、神の裁きを怖れる道徳、聖霊による癒し
庶民の生活に根ざした信仰:福音主義・福音派の宣教基盤:格差社会を反映

教会組織の共同体化

- 教会のカルト化を防ぐ:教会のアソシエーション化:権力の横暴を抑制するノウハウや、メンバーの自主性・自律性を尊重する組織のあり方、「自由な討議空間」を確保する組織の文化
- 信徒は明らかに共同体の生活様式を選んでいた 精神・現実生活の救済を求める 中流文化のキリスト教とは異なる:カルト化と言えるか?もちろん、虐待は阻止されるべきだ